



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第144号 2021年4月発行

巻 頭 言

ぐんまの高次機能障害支援を考える (特集記事のお知らせ)

群馬県立障害者リハビリテーションセンター 高橋洋輔

群馬のことを述べるまえに日本社会の姿について述べたい。次の統計がある。国連の持続可能な開発ソリューションネットワークによる昨年3月に発表された「世界幸福度ランキング」では、156ヶ国中、日本は62位(6項目の推計)。この中で気になるのは、「寿命」では2位だが、「選択の自由度」は64位、「寛容度」に至っては92位という点だ。

医療は高度化し、寿命は高くなった。しかし、人間は老いによる衰えや病気を避けられず、障害を抱える可能性もある。そのときに生活の選択、それに対する社会の寛容度が低いことは、医療技術の進歩と社会の乖離を表していないだろうか。誰もが病気や障害を抱えることがないと言い切れないが、社会において寛容度が低いならば、病や障害を抱えて生きていくなかで、人間関係や社会参加、社会生活上の障壁が生じ、生きづらさになっていく。その点を社会は見落としているようだ。この統計は「長寿世界」の一つの側面を表してはいないだろうか。

「人生100年時代」が間近に迫るなかで、少子高齢化も加速し、人口減少社会となる。人は長生きをし、そして、周りに人は少なくなる。それゆえ、私たちは支え合って生きることの意義が大きいものとなる。そこで求められるのは、年齢や性別、人種、嗜好、障害の有無によらない、多種多様の、言わば「混在型」社会、「共生社会」である。それはマイノリティにもスポットライトが当たるものだ。

話を現在の群馬へ戻す。昨年12月、「ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会」にて県内外で活躍されてきた講師2名から、群馬のこれからに必要な支援について、様々な提言を頂いた。詳細は次号以降の記事に譲るとして、なかでも印象に残った支援課題を2点お伝えしたい。まず、実態調査だ。全国的な課題でもあるが、この障害は認知が得られているとは言い難い。群馬でも喫緊の課題といえる。

次に、連携／ネットワークである。具体的には、「まず医療関係者が歩み寄り、家族会に参加してみる等当事者・家族と話し合う」ことへの必要性が、その一つに挙げられる。当事者・家族・支援者(さらに言えば市民)、お互いが歩み寄っていく“共同作業”こそ、この支援の特徴と考える。まずはOTが当事者と家族の地域生活に興味・関心をもつことから、きっかけを作りたい。

地域での「顔の見える」連携や情報共有は、この支援に限らない。「(高齢期の)地域包括ケア」をはじめ、発達障害児の復学、精神障害者の社会復帰など、OTが関わる主な領域では必然と言っていい。特に高次脳機能障害は、小児から高齢者と年齢はもちろん、障害種別でも身体、精神、発達、介護とその関わる幅は多岐にわたる。逆を言えば、高次脳機能障害支援を“brake through”できたならば、様々な領域にこのエッセンスを応用できるのではないか。

新たな一步を踏むきっかけになればと、今年は「からっ風通信」で高次脳機能障害支援に関する特集記事を掲載予定(前号から掲載中)である。他職種や当事者・家族の活動等を取り上げたい。ぜひ関心を持っていただけたら幸いである。目前にある課題解決はさることながら、次世代へ託せるような私たちの社会であることを願いつつ、筆をおくことにする。

末筆ながら、私の勝手なお願いを快く引き受けて下さった、ニュース編集グループ長の反町先生、文章校正ならびに社会学の視点から助言頂いた根岸大輔氏、そしてご協力頂いた関係者の方にはこの場を借りて感謝申し上げます。

特集記事!!

今号では、貴重なお時間を割いて頂き、NPO法人ノーサイドをはじめとして、多方面にてご活躍されている下田文枝先生に、活動報告と団体の紹介など、大変貴重な記事を執筆して頂きました。NPO法人ノーサイドさまの活動については、ご存じの先生方も多いと思いますが大変貴重な内容となっていますので、ぜひチェックして頂き、今後の臨床等に役立てて頂ければと思います!



【下田 文枝先生のご紹介】

東京都世田谷区にて1954年生まれ。

1974年に群馬に移住。現在前橋市に在住。

2000年に息子様の事故をきっかけに、2004年に(高次脳機能障害者家族会ぐんま)に入会される。

2007年4月に高次脳機能障害者と家族と支援者会NPO法人ノーサイドを設立される。

2015年より、前理事長から引き継ぎ理事長に就任、ご活躍されています。

ご多忙の中、貴重な内容を執筆頂き、ありがとうございました!

NPO法人ノーサイド 理事長 下田 文枝

NPO法人ノーサイドとは、「高次脳機能障害者と家族と支援者の会」です。

高次脳機能障害のための県内唯一の家族会で、平成19年に法人を設立してから14年目を迎えます。名前のノーサイドとは、障害の有無に関わらず当事者家族が安心して、生きがいのある人生を送れるようになって欲しいという願いが由来になっています。以来ひとりでも多くの人に高次脳機能障害という後遺症を知って欲しい、当事者や家族の苦悩を和らげたいとの思いで、活動を続けてまいりました。

* 高次脳機能障害との出会い

私と高次脳機能障害の出会いは、息子が平成12年6月に交通事故により外傷性脳内出血で負傷したことから始まりました。40数日の意識が無い日々を過ごし、その後幸い一命はとりとめたものの、高次脳機能障害を発症しました。当時19歳の息子の変貌ぶりに、大きな戸惑いと不安が募りました。そうした気持ちをぶつけるところもなく、張り裂けそうになりながら送っていた日々が、昨日のこのように思い出されます。

当事者や家族は、事故や病気などにより突然、高次脳機能障害という障害と出会います。そして、ただ元のように戻ってくれることを願いながら、必死な思いで病院での治療やリハビリを受けています。治療を続ければさらに回復するのではないかという期待や焦りに反し、退院の日はやってきます。退院後も長く続く回復の過程の支えとなる、日中活動の場や就労の場の必要性を強く感じています。

また、大切な家族(当事者)が突然変わってしまったこと、当たり前が続くと思っていた生活の変更が余儀なくされること、そうした苦悩を抱えながらも日々の生活に対応していかなくてはならないと言う点で、家族の受ける負担も非常に大きなものとなります。日々新たな問題と闘いつつ現実を受け入れる過程での苦悩を和らげる存在になれるようにと願いながら、ノーサイドは活動しています。それは、同じ障害を持つ家族の方々と話すうちに「うちだけではない」と言い知れぬ安心感がわき起こりエネルギーを得た、私自身の経験が元になっています。当事者を支える家族の支援も大切です。

会員の学術活動支援企画

【目的】

日々の臨床で感じる疑問を①具体化、言語化し、②学術研究に適した研究デザインを構築、③正しい統計処理を実施、④学術発表の場で発表できる能力を備えた会員を育成する。

【対象】

学会発表、学術論文作成に関心のある会員10名(OT学会だけではなく他の学会にも対応します)

【スケジュール】

7～2月:月1回の勉強会(全日程の参加を原則とし、日時は参加者決定後に調整)

会場:オンライン 時間19:30～21:00

(翌年)7～8月:学会発表前の原稿作成

	OT学会	一般的応募スケジュール	当勉強会
2021年 7月		テーマの検討	アイデアの具体化
8月			〃
9月			「文献検索」解説
10月		発表内容の検討	データ収集
11月			〃
12月			「統計ソフト(SPSS)使用」解説
2022年 1月	演題応募	演題原稿作成・応募	「演題登録原稿作成」解説
2月	演題応募		〃
3月			
4月			
5月	結果通知		
6月			
7月		発表原稿作成	発表原稿作成
8月			〃
9月	発表学会		

【担当者】

学術研究グループ 近藤健(群馬パース大学)、佐藤里沙(榛名荘病院)、李範爽(群馬大学)

連絡先:kenkondoot@gmail.com(近藤)、締め切り 2021年7月9日(金)迄

※学術活動に関わる相談も随時受け付けています。

事前に相談会を開催します

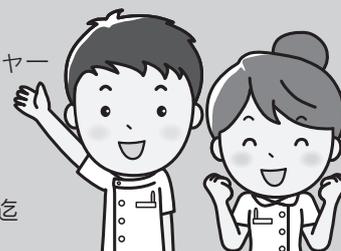
ミニレクチャーもありますので、ご興味のある方であればどなたでも参加できます。

内容:研究デザイン、統計処理、文献検索、スライド、ポスター作成のミニレクチャー
研究活動についての相談

日時:2021年6月18日(金)19:30～21:00

場所:オンライン(参加者には後日URLを送ります)

連絡先:kenkondoot@gmail.com(近藤) 締め切り:2021年6月11日(金)迄



群馬県作業療法士会 令和2年度第3回理事会議事録

日 時：2020年12月16日(水) 19:00 ~ 22:00

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、山口、柴田、市川、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、村井、山浦、李、高橋 13名

I.各部議事

1. MTDLP推進委員会[報告者:関根]

【報告事項】

1) 11/8(日)、11/15(日) MTDLP基礎研修会を実施

受講者11名、スタッフ10名

何年も培った研修会ノウハウがある中でも、オンライン研修会ではトラブル時の対応などホストに負担が大きかったが無事行えた。

【Zoom研修会 運営側反省点・配慮点まとめ】

①事前準備

・案内から受付締め切りまでの期間が短かった。(10日間)

・日時の設定や、参加者への連絡はスムーズに行えた。

・金銭の扱いについて

申込者にほぼ速やかに振り込んでいただけたが、1名、参加申し込みをしたにもかかわらず入金がなく、その後のメールにも返信してこない方がいた。(資料を郵送してしまった。)

→今後は、入金後に郵送する。

・トラブル時の対処方法熟知者がいるとよい。

・事前に、当日の通信環境で練習しておけるとよい。
練習日に問題があった方も当日までに解決できた。

*ビデオが映らない

→PCのプライバシー設定

他のアプリがカメラをつかんでいる

練習日に解決できず、他のパソコンを使って当日参加した方がいた(原因不明)

*音声がでない

→マイクの設定音量を自動から手動に変えて、音量を大きくする

②当日受付

・グループ分けについて

参加者11名とスタッフ9名だったので、当日の振り分けでも負担が少なかった。

参加者が多い場合は、事前に振り分けておいたほうが良いと考えられる。

・受付時間30分の設定で、20名の受付が行えた。

・受付時:各参加者・スタッフの音声・ビデオのチェックをホストが行えるとよい。

③当日の進行

・ホストは講師以外の人が行ったほうがよい。

グループの様子をみるために、講師兼ホストで行って

みたが、途中で通信が途切れて入室してきた方への対応が遅れてしまった。グループワーク中に途切れて入りなおした方が5名いた。再入室のため電話してきた方がいたが、画面に集中していたため気付くことができなかった。ホストを途中で変えることができるので、その機能を使って、出入りをコントロールする受付担当がいるほうがよい。

・グループワーク中に間違っただけでグループから出てしまった方について、再入室する方法がわかっていなかった。ホスト側からはコントロールできず、方法を伝えた。

*本人が「詳細…」→「ブレイクアウトルーム」→「参加」

・研修会が始まるまでの待機時間や休憩時間に注意点を画面表示(共有画面)しておくとうい。

*名前の変更について→設定表示が英語になっているので変え方がわからない など

*ブレイクアウトルーム内で画面共有開始ができない人がいた(原因不明)

・シート類の設定が自動保存になっており、自動的に保存が始まると入力できない時間ができてしまい時間がかかって大変だったグループがあった。自動保存設定を解除したらスムーズにできたので、確認しておく必要がある。

・途中で司会の通信が途切れてしまい、進行が滞ってしまった。もしものための進行役を決めておいたほうがよい。

④研修会後

・アンケートの提出をもって、参加終了となる、と説明してあったが、当日送ったアンケートに3日以内に返信してきた方が11名中4名しかいない。きちんと伝わっていないのではないかと不安。催促のメールをするようにする。

⑤当日スケジュール 別紙

【審議事項】なし

2. 地域作業療法推進部

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ 報告者 高坂

①10月30日付で地域包括ケア構築推進のための行動計画をJAOT地域包括ケア推進委員会へ提出した。

②11月11日に介護予防に資する人材育成のための研修会「コロナ禍における地域支援事業への作業療法士の参画についての研修会」の事前Zoom説明会を遠隔にて実施した。

③11月29日に介護予防に資する人材育成のための研修会「コロナ禍における地域支援事業への作業療法士の参画についての研修会」を遠隔講義にて実施し

た。OTR23名が参加した。

- ④12月8日遠隔にてJAOT地域包括ケア推進委員会の関東静岡ブロック研修会が実施された。青木副部長、榊原氏が参加した。

2) 認知症支援推進グループ 報告者 高坂

- ①10月24日群馬県公社ビルにおいて認知症ケア資質向上のための研修「第1回-認知症の基礎知識や法律の視点を学びケアのヒントを見つけよう」を実施した。介護福祉士、介護支援専門員、看護師、リハビリ職71名(OT20名)が参加した。

- ②11月18日第4回グループ会議を実施し、上記研修会の振り返り及び令和3年2月6日に予定している第2回研修会の準備について検討した。

- ③第2回研修会のテーマは「認知症支援のニーズから考える認知症ケアの可能性」とし、東京都作業療法士会認知症の人と家族の生活支援委員会の竹原敦氏、高崎市認知症初期集中支援チームの大手真栄氏、群馬県健康福祉部の高原氏に講師を依頼する方向で講師依頼や参加者募集等の準備(12月15日に県内全事業所にチラシを発送)を進めている。

- ④第2回研修会の認知症支援のニーズを把握するため、公益社団法人 認知症の人と家族の会代表の田部井氏にインタビュー調査を行った。その調査の中で、認知症ケア専門職が認知症当事者と認知症の人と家族の会のつなぎ役としての重要性が確認できたため、今後は認知症支援推進グループと認知症の人と家族の会の定期的な連携をしていく。

3) 精神科領域推進グループ 報告者 高坂

- ①11月13日に令和2年度第2回メンタルヘルス情報交換会を企画・実施した。三枚橋病院の清水OTRより養成校指定規則の変更に伴う臨床実習指導法について、精神科デイケアの実践を紹介していただいた。

4) 発達支援推進グループ 報告者 勝野

- ①11月12日に定期勉強会をオンラインで開催した。今回より県土会のZoomアカウントを使用している。参加者は17名。内容は幼児の箸操作についての症例提示とグループに分かれて検討し、1月の定期勉強会で全体共有する予定である。次回は1月14日(木)18:30から開催予定である。

- ②群馬県教育委員会より、外部専門家配置事業の依頼がありオンラインにて現在2件対応を行った。

【審議事項】

1) 認知症支援推進グループ

「認知症の人と家族の会」への賛助会員(群馬県作業療法士会)としての入会可否についてご審議いただきたい。

→ 承認。会費1万円/年はグループ活動費から捻出

2) 精神科領域推進グループ

今年度延期予定となっていた「ソーシャルバスケットボールキャラバン」が令和3年3月13日に開催される予定と

なった。後援依頼が来た場合、承諾の方向で良いかご審議いただきたい。

→ 承認。

3. 養成校連絡協議会 [報告者:高坂]

【報告事項】

- 1) 令和2年度臨床実習指導者講習会(都道府県講習会)について

- ①12月12日、13日、19日、20日に2020年度第1回と臨床実習指導者講習会が開催される。参加者50名に対し、講師・ファシリテーター16名で対応予定である。運営キー局は群馬大学が行う。

- ②12月2日、日本作業療法士協会及び厚生労働省に第2回臨床実習指導者講習会(令和3年2月27日、28日、3月6日、7日)の開催申請を提出した。

【審議事項】なし

4. 教育部 [報告者:勝野]

【報告事項】

- 1) ブロック長会議

コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。10/26、11/26にZoomを使用しリモート会議実施。

①検討内容

- ・2020年度 新人症例発表会について
- 2021年2月21日に対面形式で開催予定であったが、新型コロナウイルス流行のため発表形式について3役からアドバイスをいただく。

対面形式ではなく、Zoomを使用したWEB形式での開催予定とする。

運営会場はインターネット環境が整っているようであれば高崎市総合福祉センター利用を検討。

Zoomのブレイクアウトセッション機能の使用を視野に入れて運営の検討実施。

参加者は円滑な運営のために発表者とファシリテーター役の教育部スタッフのみを予定。

年度末も近づいてきているため、2021年度の新人症例発表会の開催日についても今後検討。

- ・2020年度 現職者選択研修(精神領域)について

→2021年1月31日にZoom研修を実施。

Zoom運営場所は群馬医療福祉大学6階を使用。

講師:「精神障害作業療法の基礎知識」→高坂理事

「精神障害作業療法の展開方法」→高坂理事

「精神障害作業療法の実践」→加藤先生(原病院)

「精神障害作業療法関連のトピックス」

→梶間先生(群馬県立精神医療センター)

- ・Zoom研修会のマニュアルについて

→教育部で参加者用のマニュアルを作成。

各部へ理事を通して報告実施。

- ・生涯教育システム稼働、生涯教育手帳の電子化移行について

→引き続き七日市病院を郵送窓口として対応中。

2) 研修会報告

①現職者選択研修(精神領域)

日時:2021年1月31日9:30~16:40(zoomサインインは9:00~)

会場:Zoom研修(運営会場:群馬医療福祉大学6階)

講師:「精神障害作業療法の基礎知識」→高坂理事

「精神障害作業療法の展開方法」→高坂理事

「精神障害作業療法の実践」→加藤先生(原病院)

「精神障害作業療法関連のトピックス」

→梶間先生(群馬県立精神医療センター)

②新人症例発表会

日時:2021年2月21日

時間未定(9:30~16:00予定)

会場:Zoom研修

(運営会場は高崎市総合福祉センターを検討)

上半期収支報告 山ノ内会計統括から事務局へ上半期収支内容を報告 →収入・支出ともに0円。

③その他

SIG登録の研修会のポイント申請について

→2020年6月から会員ポータルサイトで個人申請に変更しています。

詳細は日本作業療法士協会のHPをご参照ください。

県士会教育部では申請の対応はできません。

【審議事項】無し

5. 広報部[報告者:都丸]

【報告事項】

1) 公益事業グループ

①コロナウイルスの完成拡大による影響から例年開催していた広報活動は全て実施できておりません。今後はSNS等を利用し、今できる広報活動を進めていきたいと考えております。Zoomにて部会を開催、リーフレットの改訂作業等、今年度の活動について検討、情報交換を行いました。

2) ニュース編集グループ

①今年度作成予定のニュースは次回1月号で最後となり、現在作成準備中です。一年のはじめということで、巻頭言は新井会長に依頼させていただきました。発行は1月後半を予定していますが、新型コロナウイルスの関係上、印刷会社さまとの関連で前後する可能性があります。

※10月号に掲載した群大付属HPの長谷川先生による巻頭言に関して、会員から感想のお手紙を頂きました。ご協力頂きありがとうございます。

またニュース内容の提案も頂け、翌々号の4月号で高次脳機

能障害に関連した内容を掲載させて頂く予定です。

今後は分野に特化したものや時事的なものも扱っていきたく考えています。組んでほしい特集やご意見頂戴したい先生などいらっしゃいましたら、会員の皆さまに

も協力をお願いしたいと思います。今後ともニュースの発展、有効化にご協力をお願い致します。

3) 広報企画グループ

①Zoomでの広報部会でリーフレットの改訂作業についての確認を行いました。

他県士会のパンフレットなどの情報収集など実施していく予定です。

【審議事項】無し

6. 地域局

【報告事項】

1) 西毛ブロック支部 報告者 山浦卓哉

①「医療介護連携フェスティバルin高崎」関連についてフェスティバルの主催者である高崎市医療介護連携相談センター南大類のHP上に医療介護の専門職として群馬県作業療法士会の紹介文書を掲載していただいた。次年度のフェスティバルの内容としては、感染対策の観点から以前(多職種でブースを設定して来客を招く)とは異なる形式で行う予定。

②県士会に関わる情報について、主任代表者宛へメール配信を行った。引き続き、必要な情報を共有していく。

2) 北中毛ブロック支部 報告者 小此木

①11月上旬に沼田利根医師会相談室より相談室で行っている事業について群馬県作業療法士会に依頼したいと話がきましたが、それ以降の連絡はなし。正式に依頼が来たら相談して行きたい。

②県士会に関わる情報について主任者宛にメール配信を行った。引き続き、必要な情報を共有していく。

3) 東毛ブロック支部 報告者 今村

①太田市医師会主催多職種連携研修(web)の研修参加をブロック部員にメールにて参加促しを行った。

②県士会に関わる情報について主任者宛にメール配信を行った。引き続き、必要な情報を共有していく。

【審議事項】無し

7. 福利厚生部[報告者:市川]

【報告事項】

1) 群馬県作業療法学会に向けた審査基準や審査方法について

県学会の審査基準や方法の確立に向け、学術部との話し合いを行った。

福利厚生部では、二次審査での項目は発表の態度、時間を守れているかなど、症例発表の様子、抄録などから読み取れない作業療法らしさについて、審査項目をまとめていく。

2) 優秀学生賞について

今年度も各養成校に優秀学生賞を伺っていく。しかし、コロナ禍の影響もあり、養成校の状況を確認しながら、柔軟に対応していく。

【審議事項】無し

8. POS連絡協議会[報告者:山口]

【報告事項】

1) 介護予防部

- ①高崎サロンは令和2年度現在までの実施4件
- ②第6回介護予防推進に資する指導者養成研修会
→2021/1/27, 1/29, 2/1, 2/4の4回 19:30-20:00
- ③災害支援とリハビリテーションに関する研修会
→2021/2/17の19:00-20:30
- ④部員としての協力 →山浦卓哉理事(公立七日市病院)、笹谷朋弘氏(前橋ふえきクリニック)

2) 地域ケア会議部

- ①リハ職向けの地域ケア会議に対応しうる人材育成のための研修会
・総合確保基金事業を活用したWEB研修会を2月下旬から3月に実施計画

3) 地域リハビリテーション支援センター

- ①「ぐんまゆったり体操」の作成、tsulunos-YouTubeへの筋トレ動画アップ…等 別資料有
- ②広域支援センターへの支援
- ③フレイル予防標準テキスト作成、フレイル予防普及啓発講演会
フレイル予防のための実証事業等

【審議事項】

- 1) 介護予防推進リーダー/地域ケア会議推進リーダーのPOS共同開催の是非について →承認。
- 2) POS連絡協議会の人材確保(継続議題)
- 3) 地域包括ケアシステムに向けた地域局との連携(継続議題)

* 情報提供(地域リハ関連、ほか)

・高次脳機能障害に対する支援体制強化に向けた行政の動き

9. 運転と作業療法特設委員会[報告者:李]

【報告事項】

- 1) 2020年12月26日(土)にzoomでの世話人会を実施する。

【審議事項】無し

10. 学術部[報告者:李]

【報告事項】

- ① 県士会における学術支援活動を行なった。
- ② 県学会実行委員会・福利厚生部・学術部の合同会議を行った。

【審議事項】無し

1) 学術研究グループ

【報告事項】

- ① 今年度の学術研究グループの勉強会を現在までに5回開催した。

【審議事項】無し

2) 学会支援グループ

【報告事項】

- ① 第23回群馬県作業療法学会の開催に向けてマニュアルの更新作業を行った

【審議事項】

- ① 群馬県作業療法学会 一般演題優秀演題賞の実施に関する担当部署について(資料1, 2, 3)

3) 機関誌編集グループ

【報告事項】

- ① 2020年度機関誌の印刷準備中である。
- ② 今年度の学会誌がないため、機関誌のみの発行となる。

【審議事項】無し

11. 2021年群馬県作業療法学会[報告者:村井]

【報告事項】

- 1) 令和2年度第1回群馬県作業療法学会運営会議を実施した。

日時: 令和2年11月11日(火) 19:30~21:00

場所: 群馬大学 保健学科西棟3階 第3作業活動実習室

【審議事項】

- 1) 2021年度学会の開催日程について、新型コロナウイルスのワクチン接種状況が予測困難なため、感染拡大期の前に開催してはどうか? 日時として10月末から11月中旬までの日曜日に開催としたい。日程候補は10/24, 10/31, 11/7, 11/14のいずれかの日曜開催予定。
→10月24日or 31日

- 2) 開催日程変更による機関紙の発行前倒しについて: 開催日程の変更に伴い機関紙の発行スケジュールも2か月程度前倒しが必要。しかしながら、スケジュール変更に伴い論文募集や査読業務もすべて前倒しとなると、昨年のような学会誌との合同印刷が難しい。予算の都合がつけば次年度に限り、学会誌と機関紙の別冊発行に戻せないか検討したい。
→承認

- 3) 論文募集案内の周知: 学会開催日時の変更(前倒し)や機関紙論文募集日程の変更について配布物またはメール配信により告知を行う。

- 4) 開催形式: 2021年度の仙台学会を参考にしながら、2021年度の群馬県学会は現地開催とweb(一部動画配信)開催を予定。ワクチン接種状況も不明であり、感染拡大期の前にスマートに学会開催予定。

- 5) 参加費: 県士会員1000円、他職種2000円とする。
→承認

- 6) プログラム内容: 感染拡大の懸念から、発表形式が密になりやすいポスター発表は行わず、一般口述のみで感染対策を行いながら実施。会場内の間隔を確保しながらリモートで別室にもモニター中継。一部講演は動画配信などを検討し予算の削減を行う。

7) 学会運営予算の確認:学会開催予算は昨年までと同額の予算で計上可能か?また学会開催における感染対策費用やwebシステムなど、開催経費の見直しが必要と思われる、県士会における感染対策委員など検討が必要か?

12. 財務部 [報告者:高橋]

【報告事項】

1) 部長加藤様から部長を降りたいとの意向あり、副部長奥野様へネットバンキング引継ぎました。

13. 事務局 [報告者:高橋]

【報告事項】

1) 事務局パソコン購入し移行済。
2) NTT東日本サイバーみまもり12月中に解約予定
→会長へ依頼した。

【審議事項】

1) 加藤事務局員3月にて契約終了となる。今年度と同様条件で契約更新で良いか。
→承認

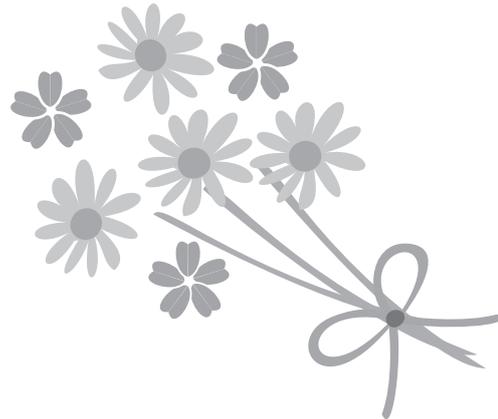
14. その他

1) 生涯教育制度について

①SIG、参加証の発行しているものは各個人で申請していただく。

②参加者名簿のある物は今年度はExcelで柴田理事へ送る。

2) 連盟設立について



PT・OT・STのための総合オンラインセミナー

リハノマ

臨床・研究・マネジメント 全てのヒントがここにある

—— 毎月20本以上、年間200本以上配信予定!! ——

1 どこでも学べる

オンデマンドでいつでもどこでも学習できる

2 充実のコンテンツ

充実のコンテンツでたっぷり学べる
毎月新規動画を追加予定!

3 豪華講師陣

各分野のスペシャリストがわかりやすく解説

4 定額見放題

定額制だから何度見ても何時間見ても安心

5 配信スケジュール公開

毎月追加される動画の内容と登壇する講師を事前に告知

個人会員料金 1アカウント	
料金プラン ※料金は税込	
リハノマパス 1 1ヵ月見放題	3,080円/月
リハノマパス 6 6ヵ月見放題	2,772円/月 <small>リハノマパス1と比べて 1,848円お得!</small>
リハノマパス 12 12ヵ月見放題	2,566円/月 <small>リハノマパス1と比べて 6,168円お得!</small>
リハノマパス 24 24ヵ月見放題	2,181円/月 <small>リハノマパス1と比べて21,576円お得!</small>

※全て月割支払いとなります

NEW 育休・復職応援制度始動!!

育児休暇期間+1ヶ月 がなんと **視聴料無料!**

スキマ時間で復帰不安を解消!
キャリアのブランクをつくらない!

ご契約中の方も初めてご契約される方も男性女性問わず対象です。
詳細はホームページをご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

リハノマ 再生専用アプリ登場!!

IOS

Android

ダウンロードはこちら↓

何時でも

何処でも

何度でも

オフライン再生!!

アプリからのダウンロードで、最新内容で視聴可能!

リハビリテーションを『かたち』にする会社

お問い合わせは
こちらまでお願いいたします

株式会社 gene セミナー事業部

〒461-0004 愛知県名古屋市長区突1-26-12 IKKO新栄ビル6階

☎052-325-6611

✉seminar@gene-llc.jp

令和2年度 新人症例発表会 ～初めてのweb開催を終えて～

新型コロナウイルスで開催自体が危ぶまれる中、各スタッフの努力により、なんとか令和3年2月21日開催の運びとなりました。

今回の新人症例発表会は最初会場を準備しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延により、「中止」か、PT士会の新人症例と同様に「各施設での発表に委託する」、「対面で継続する」など検討を重ね、対面式でないで参加者へのポイント付与ができない、多数の研修会が開催できない中で新人症例ぐらいは開催してあげたいなど様々な意見があり、web開催ということで落ち着きました。

発表に至るまでは、web開催で起こりうる問題点を想定し、zoomのマニュアルを作成し、体験会という形で発表者・スタッフ・ファシリテーターにも集まっていただき練習していききました。体験会ではトラブルが多々ありました。ノイズ…ハウリング…音がでない…など色々あり、スタッフ一同体験会をやってよかったと思います。

今回の発表会ではzoom使用だったのでスタッフも各会場に入ると連絡が取れなくなってしまう為、本番当日を含めてLINEグループですべてのやり取りを行うようにしました。実は当日、皆様が発表者している裏側で数百件のやり取りをしていました。

携帯片手にトラブルがあれば即ネットで対応法を調べていくという作業でした。

体験会で起きたトラブルを解決しても本番では新たなトラブルが発生の繰り返しでしたね。発表の皆様は発表という緊張に加えて、慣れないzoomの対応もあり本当にお疲れ様でした。

発表に関しては各会場を転々と回らせていただきましたが、自宅やご自身の職場から参加されていることもあり、対面での新人症例よりも緊張感が少なかったのではないかと感じました。今回のweb開催の大きなメリットとして2つあったと思います。

一つは費用面です。会場を借りないことで大きな節約になったかと思います(スタッフの労力はその分大きくなったとは思いますが…)もう一つは本番当日の時間の節約です。いつもは全日使っていますが、今回は時間調整をして、ほぼ半日で終わるように開催致しました。発表して残り半日を有意義に過ごすことができたのではないのでしょうか。

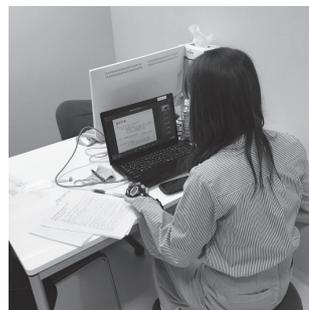
今後の課題として、次回すでにWeb開催が決まっています。今後Web開催で継続していくのか、会場での対面式に戻していくのかということ。また、今回はファシリテーターも厳選し少人数制で行いました。その分発表者も質問しやすいのではないかと期待しましたが、やはり発表することへの緊張感があるのか、発表者同士でディスカッションになることは少ないようでした。Web開催の場合の傍聴者をどう増やしていくのか、発表者へのアドバイスを活発にしてい(いかに実りある発表会にするか)などが課題になっていくかと思われます。



PT協会の方ではスライド発表をすでに取りやめています、OTの方は今後の学会発表の練習という目的もあり、新人症例発表会が唯一の発表となっている方も大勢いるかと思えます。そういう意味でスライドでの口述発表という形態のまま継続できるというのは個人的には思っています。

最後になりますが、今回の新人症例発表会の開催に向けて協力して下さった、スタッフ、ファシリテーター、そして発表者の皆様へお礼を申し上げます。ありがとうございました。

教育部 鳴海



※令和3年度新人症例発表会は9月26日(日)web開催で予定しております。
詳しくはHP, Facebookをご参照ください。よろしくお願いいたします!



施設紹介

訪問看護ステーションサンホープ笠懸

訪問看護ステーションサンホープ笠懸は、東毛地区のみどり市笠懸町にあります。医療法人日望会の事業所として、平成9年10月に開設されました。関連施設にはみどり病院、介護老人保健施設サンホープ笠懸、サービス付き高齢者向け住宅、デイサービス、ショートステイ、訪問介護、居宅介護支援事業所があります。

当ステーションにリハビリ職が配置されたのは、平成29年4月からになります。翌年には、訪問介護と訪問看護事業所が同一の事務所になり多職種で協働しながらサービスを実施しています。現在、当訪問看護ステーションには看護師3名、作業療法士1名、理学療法士3名が在籍し、地域の利用者様の住まいへ訪問しています。訪問のエリアはみどり市、桐生市、伊勢崎市、太田市が中心です。病院や施設から在宅復帰後のリハビリテーション、復職に向けた支援、自宅の環境調整、余暇活動の支援など、関わる内容は多岐に渡ります。

当ステーションでは職種に関わらず、「すべての人に親切に」、「安心、安楽」を念頭に置いて、業務にあたっています。利用者や家族をはじめ、ケアマネジャーなどの関係職種などの信頼関係を築けるようにしています。

訪問看護で関わる利用者様は、年齢層、抱える疾患や障害も様々です。それぞれ生き方や価値観も違い、「個」が重視されます。また、お住まいにおうかがいするので、そのご家族との関係もより密接なものになります。その方たちに対して、リハビリ職として何が出来るかだけでなく、人としても何が出来るか、そのようなことが求められると感じています。正直、在宅での生活を支えるということは、リハビリ職だけでは解決できるものと考えていません。基本的な健康や医学的管理、栄養、服薬、心理的ケア、終末期ケア等々。むしろ、この職種の無力感を感じることも多々あります。そこで、他職種との連携や社会資源等を活用してどのように支援を考えていくか、それが訪問領域の醍醐味と考えています。在宅ならではの視野の持ち方、必要な知識やケアの技術など、看護師さんと一緒に働くことはリハビリ職にとってすごく意味があることと思います。お互いに切磋琢磨しながら、楽しく毎日の支援に当たっています。

臨床経験4年目以上の方々へ

臨床実習指導者の方々は、実習生を受け入れる場合、今年度から（養成校によっては次年度から）、「臨床実習指導者講習会」を受講している必要があります。貴施設の実習生受け入れ状況を踏まえ、今一度、講習会への参加についてご確認ください。講習会の詳細やお申込みについては、ニュースに同封いたしました別刷りの案内や群馬県作業療法士会ホームページ等をご覧ください。



令和3年度 講習会スケジュール(前半)

対面開催の場合の会場

【第1回】令和3年 8月28日(土)～ 29日(日) 前橋医療福祉専門学校

【第2回】令和3年 10月2日(土)～ 3日(日) 群馬医療福祉大学

【第3回】令和3年 10月23日(土)～ 24日(日) 群馬大学

花あかりで働く理学療法士 ・作業療法士を大募集!!

訪問看護ステーション花あかりでは、看護と連携しながらより効果的なリハビリを追求し、生活に必要なリハビリ支援や保険外のサービスまで、自宅や介護施設に生活しながらも、より本人らしい質の高い生活のためにあらゆる支援を行っています。対象疾患は脳血管障害(急性期～維持期)、整形疾患(上肢、脊髄、下肢)、内部障害(呼吸循環、腎臓リハ)、神経難病、がん終末期、認知症、精神疾患など幅広く対応しています。また地域における体操教室や勉強会など、行政や地域包括支援センターと連携しながら各種セミナーなども開催しています。

花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です！経験年数の浅い方も大歓迎！バイタルサインの理解と急性期～慢性期までのリスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメントまですべてお伝えします！

- ◎募 集 理学療法士、作業療法士
- ◎勤務形態 正社員(非常勤は要相談)
- ◎勤務時間 8:30～17:30、週休2日、年末年始
- ◎給 与 年俸360～430万円(経験加算あり、各種手当別途、各種認定資格保持者・急性期経験者優遇します)



〒376-0121
群馬県桐生市新里町新川715-11
ファミリアイマイE号室
TEL:0277-51-3124
採用担当:村井まで



理学療法士・作業療法士 有資格者募集

業務内容:通所リハビリと入所でのリハビリ業務
勤務時間:月～金 9:00～18:00(休憩75分)
土曜 9:00～13:00(一日勤務あり)

給 与:経験等考慮の上法人規定に準ずる
待 遇:各種保険、退職金、賞与年2回(4.5ヶ月)
休 暇:日祝、有給休暇、夏季休暇、年末年始
創立記念日、産休育休、介護休暇

応募方法:まずは電話にてお問合せ下さい 担当:岡田、岩田

医療法人三省会 介護老人保健施設 希望の苑
〒373-0829 群馬県太田市高林北町1138
TEL. 0276-38-1912

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した・・・などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: koha.yuu@yahoo.ne.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

つい先頃、新年を迎えたと思ったらあっという間に年度末、年度初めと時間の経過は早いと感じる今日この頃。後輩ができたり、新たな場所でご活躍されるなど、変化のあった先生方も多いと思う。

今号では全号に続いて特集を組ませて頂き、NPO法人ノーサイドさまにご協力を頂いた。ノーサイドさまの活動についてはご存じの先生方も多いと思うが、この機会に改めて関心を深めて頂ければと思う。また、教育部の先生方にもご協力頂き、新人症例発表会の報告も掲載させて頂いた。たくさんの先生方からのご協力、改めて感謝申し上げます。 S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社